

千葉市

精神障害者の地域移行推進に 関する取り組みについて

千葉市では・・・

- 平成27年度より措置入院者の退院に向けた支援の調整を実施している。
- 平成28年度、長期入院精神障害者地域移行総合的推進体制検証事業を実施。
- 平成29年度からは「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業」

1 千葉市の基礎情報

基本情報

圏域数	1ヶ所		
人口 (H29年9月1日)	974,974人		
精神科病院の数 (H28年6月末)	9病院		
精神科病床数 (H28年6月末)	1,444床		
入院精神障害者数 (H28年6月末)	3か月未満：303人 (29,1%)		
	3か月以上1年未満：170人 (16,4%)		
	1年以上：566人 (54,5%)		
	うち65歳未満：291人		
	うち65歳以上：275人		
退院率 (H28年6月末)	入院後3か月時点：69,2%		
	入院後6か月時点：87,1%		
	入院後1年時点：94,4%		
相談支援事業所数 (H29年9月1日)	基幹相談支援センター：0		
	一般相談事業所数：15		
	特定相談事業所数：52		
障害福祉サービスの利用状況 (H29年3月)	地域移行支援サービス：31人		
	地域定着支援サービス：60人		
(自立支援)協議会の開催頻度 (H28年度)	全体会1回・地域部会と運営事務局会議各6回/年		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の有無と数	障害保健福祉圏域	有・無	1カ所
	市町村	有・無	〇カ所

※H29年〇月時点

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業

○「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業」の実施

当事業を通じて、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた支援を行い、その為のシステム作りや関係機関相互のネットワーク構築等を推進していく。

- 連携推進会議の開催
- 地域移行関係職員に対する研修の実施
- 精神科病院入院者に対する退院支援プログラムの実施
- 包括ケアシステムの構築状況の評価に係る事業の実施
- 措置入院者等の退院後支援（継続）

3 評価指標の設定状況

【〇〇県全体】

指標名	H28時点	H29	H30	H31	H32

【〇〇圏域】

指標名	H28時点	H29	H30	H31	H32

【設定理由（根拠）】

-

4 事業の進捗状況 ※平成29年9月末時点

【事業実施にあたっての特徴】

☆参加病院・事業所等（相談支援事業所・地域活動センター・障害福祉サービス事業所・介護・家族会・法曹関係・行政機関）個々の特色などから、地域移行支援の実施とそれを担う人材育成を主眼とする「**地域移行支援推進分科会**」と、関係機関相互の連携および地域への発信を主眼とする「**支援ネットワーク構築分科会**」に分けて、相互に連携しながら活動を展開中！

【地域包括ケアシステム構築推進連携会議の開催】

- ☆第1回連携会議開催（7月）
 - 活動内容や方向性の決定
 - 早くも、各病院・事業所等相互で活発な意見交換が行われる。
- ☆具体的な作業の開始（9月）
 - 事業実施に向け、各グループで具体的な準備に着手。

4 事業の進捗状況 ※平成29年9月末時点

【地域移行支援プログラムおよび関係職員向け研修の実施】

☆実施に向けたアンケートおよび聴き取り調査の実施（7～8月）

→多くの病院・事業所が何らかの形で参加したい旨の意思を表明

☆地域移行支援プログラムの実施計画策定・開始（8～9月）

→上記の調査結果をもとに、「**地域移行支援推進分科会**」にて検討

9月以降、準備が整い次第「体験談プログラム」「日中活動体験プログラム」「生活訓練プログラム」を順次開始。

☆地域移行関係職員向け研修の実実施計画策定・開始（8～9月）

→上記の調査結果をもとに、「**地域移行支援推進分科会**」にて検討

→研修計画を策定・発表（9月）

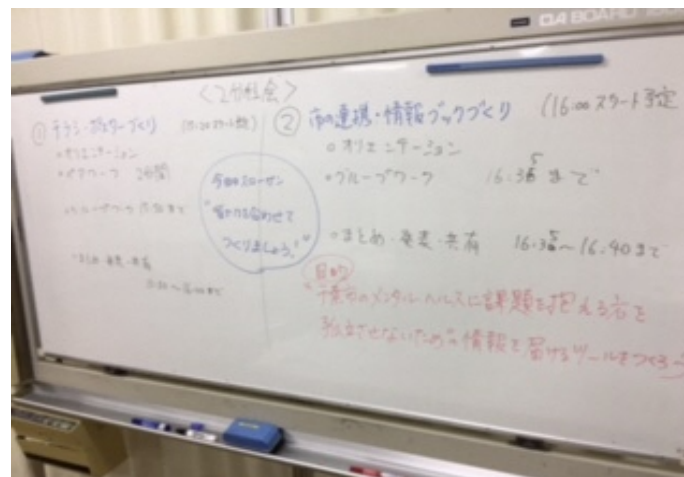
→9月以降、準備が整い次第、順次研修開始。

「まずは職員が、病院・事業所を見てみたい」→見学会の実施へ

4 事業の進捗状況 ※平成29年9月末時点

【支援ネットワーク構築&地域への発信】

- ☆ **「支援ネットワーク構築分科会」**にて、意見交換および検討（7～8月）
→当事者が孤立しないよう、情報を伝えたりつなげていくための広報物（チラシ・ポスター・ハンドブック等）の作成しよう！
- ☆ **具体的な作業開始（9月）**
→対象者、キャッチフレーズ、具体的な掲載項目・内容等の検討
掲示&配布場所の検討 など



5 現時点での課題・悩み

【課題や悩み】

- ・「地域移行」に対する考え方に、病院や事業所によってまだまだばらつき（温度差）がある。
- ・病院や事業所によっては、「困っていること」「悩んでいること」自体に気付いていないところもある？
→もう少し会議（事業）を進めていくことで変化に期待したい！

【他の自治体の皆さまへ】

☆医療・福祉・行政の連携を上手くとるコツって何かありますか？

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた平成29年度の取組スケジュール

平成29年度の目標

1. 構築推進連携会議等を通じて、関係機関相互の連携を一層強化する。
2. 退院支援プログラム等入院患者に対する支援を、さらに拡充していく。
3. 「精神障害者の協議の場」の設置を図る。

時期(月)	実施内容	担当
H29年7月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア構築推進連携会議 開始(以後、隔月) ・退院支援事業の実施(継続) ・包括ケアシステムの構築状況の評価開始 	精神保健福祉課 精神保健福祉課 (精神保健福祉課ほか)
H29年9月	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者の地域移行関係職員に対する研修の開始 ・入院中の精神障害者の地域移行プログラムの開始 ・地域移行促進の為の広報 	精神保健福祉課および 事業所等へ委託
H30年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催の全体研修会(拡大連携会議)開催 ・検証 	精神保健福祉課